



# 山中魂

～正義 勇気 土根性～

新潟市立山の下中学校たより

令和5年5月19日発行

第4号 校長 武藤 雅雄

5月9日 全校朝会「学校へ行く理由」(抜粋) 武藤 雅雄

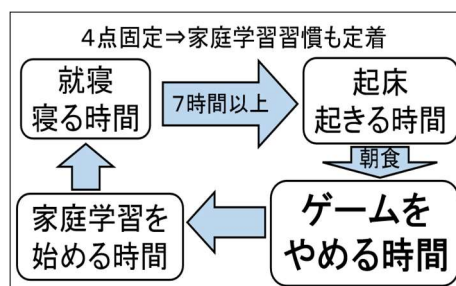
**山中のよさ** 今日は3つの話をします。1つ目は、山中のよさについてです。授業を見に行くと、みんなが真剣に授業に取り組んでいます。進んで発言したり、グループ活動で協力したりして、前向きな姿勢がとてもよいです。先日、学校運営協議会の方が授業を参観され、「みんなが楽しそう」と喜んでいらっしゃいました。



部活動で、先輩が後輩に優しく指導する姿、元気に活動して大きな声であいさつする姿は山中の伝統です。廊下の雨具かけには道具類が整然とかけられています。教室のロッカーも整理整頓されています。玄関の下足箱も上級生から下級生へとよい伝統が引き継がれています。みんなは当たり前で生活していますが、元気なあいさつができる山中生、ノーチャイムで生活できる山中生は、とても素敵です。山中には、たくさんのよさがあります。



**山中生に期待する姿** 山中の成果は、「自分の考えを進んで伝えている」「あじみこ+そができて」「楽しく学校生活を送っている」「互いに認め合っている」です。期待する姿は、「家庭学習習慣の定着」「メディアコントロール力」を身に付けることです。この2つは関連しています。メディアコントロールを成功させるカギは、「夜寝る時間を決め、7時間以上の睡眠をとる」「朝起きる時間を決め、朝食を食べて登校する」「ゲームやメディアをやめる時間を決める」「家庭学習を始める時間を決め、学年目標以上の学習時間をめざす」ことです。この4点固定が、メディアコントロール力を高め、家庭学習習慣の定着につながります。



**夢をかなえるために** あなたはなぜ学校へ行くのですか？ 高校に入れなからですか？ それとも家の人に叱られるからですか？ 世界には、一歩間違えば命の危険があるにもかかわらず、学校へ行く子どもたちが大勢います。なぜそんな危険を冒してまでも、学校へ行くのでしょうか。国が違って、言葉が違って、思いは同じ。同じ言葉が返ってきます。「勉強して賢くなりたい」「夢をかなえたい。」です。

**あなたが主役** 学校は夢をかなえるパスポートです。毎日の授業や友達関係、学級活動、清掃、生徒会や専門委員会、部活動、あじみこ+そなど、すべてが学びです。学校生活の充実が、みんなを成長させて、夢や希望の実現につながります。私はみんなに、山中魂「正義・勇気・土根性」のように、たくましさとしなやかさを兼ね備えた人に成長してほしいと願っています。夢に向かうあなたが主役です。笑顔で、明るく、楽しく生活できる山中をみんなで創っていきましょう。

授業 友達関係 部活動  
学級活動 生徒会・委員会活動  
『あじみこそ』…すべてが学び

充実

夢や目標の実現

## 5月16日 生徒総会・いじめゼロ集会

生徒総会で、今年度の生徒会スローガン

「一期一笑(いちごいちえ)」が紹介されました。毎日を大切に笑顔で過ごせる山中生になってほしいという願いが込められています。本部や委員会の活動計画も発表されました。

その後のいじめゼロ集会では、各学級の目標が発表されました。いじめをしない、させない、許さない山中を目指します。

【1年生】



【2年生】



【3年生】

